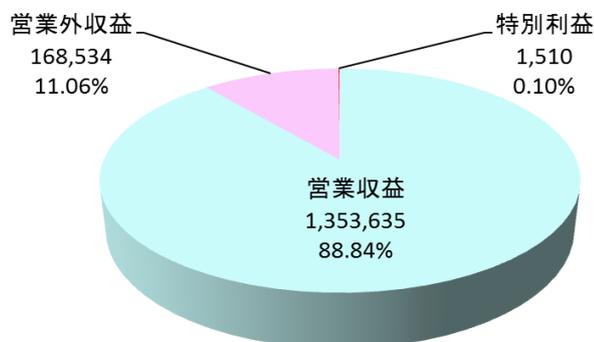


4) 平成 29 年度予算について

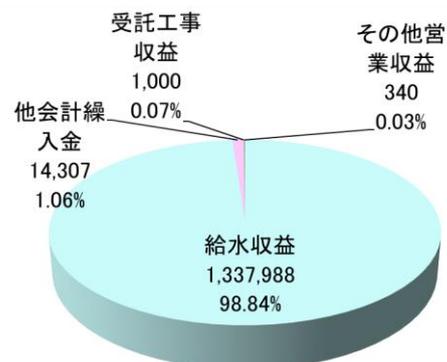
収益的収入 (3条予算)・・・1,523,679 千円

収益的収入は営業収益・営業外収益・特別利益で構成されています。収入の約 9 割を営業収益が占めています。

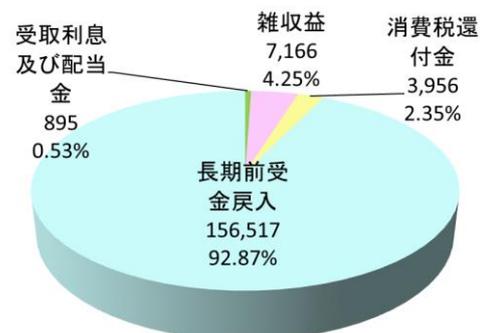


| | 予算額 (千円) |
|-------|-----------|
| 営業収益 | 1,353,635 |
| 営業外収益 | 168,534 |
| 特別利益 | 1,510 |
| 合計 | 1,523,679 |

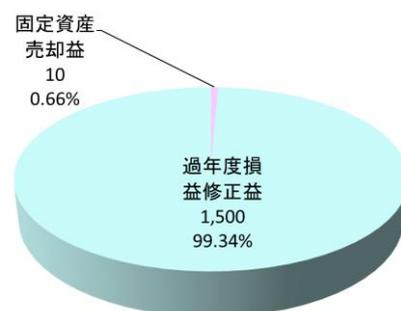
●営業収益 営業収益の約 99%が水道料金となっており、次に消火栓の管理料である他会計繰入金となっています。



●営業外収益 営業外収益の約 93%が長期前受金戻入となっています。
※長期前受金戻入・・・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

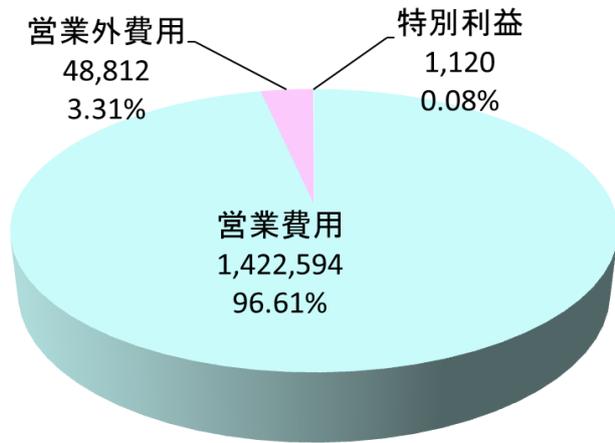


●特別利益 特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上するものとなっており、過年度損益修正益が約 99%を占めています。これは最高裁判決（H15 年 10 月）により水道料金が私債権となったことから決算処理により過去に不納欠損として処理した水道未収金を帳簿外で管理しており、その帳簿外で管理している未収金の支払いがあった場合にこの科目に修正益として計上することになります。



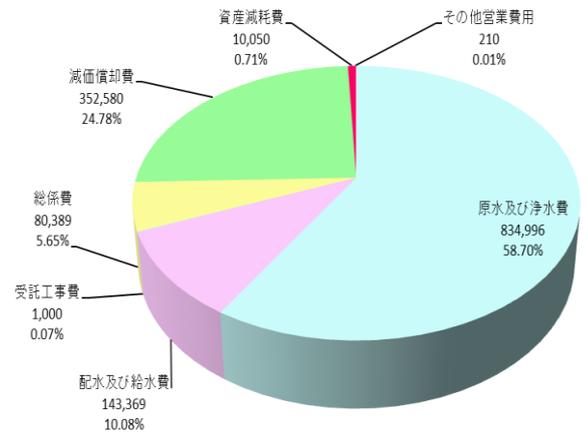
収益的支出（3条予算）・・・1,472,526千円

収益的支出は営業費用・営業外費用・特別損失で構成されています。支出の約9割を営業費用が占めています。

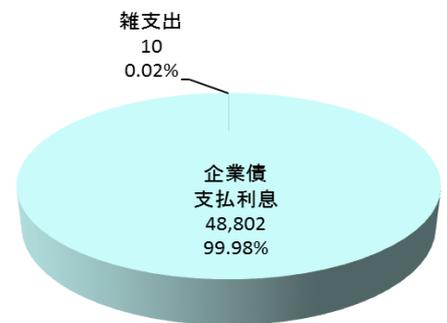


| | 予算額 (千円) |
|-------|-----------|
| 営業費用 | 1,422,594 |
| 営業外費用 | 48,812 |
| 特別損失 | 1,120 |
| 合計 | 1,472,526 |

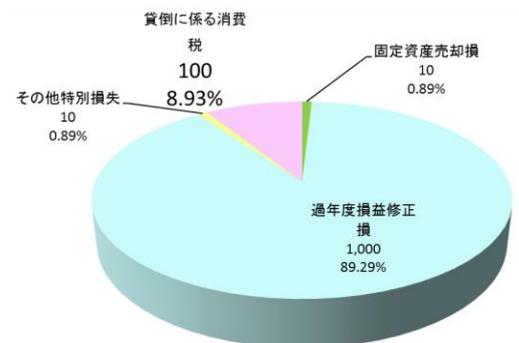
- 営業費用 営業費用のうち原水及び浄水費は約58%を占めています。そのうち80%は受水費（県からの水道水の購入費用）となっています。次に減価償却費、配水及び給水費、総係費となっています。



- 営業外費用 営業外費用のほとんどが企業債支払利息となっています。

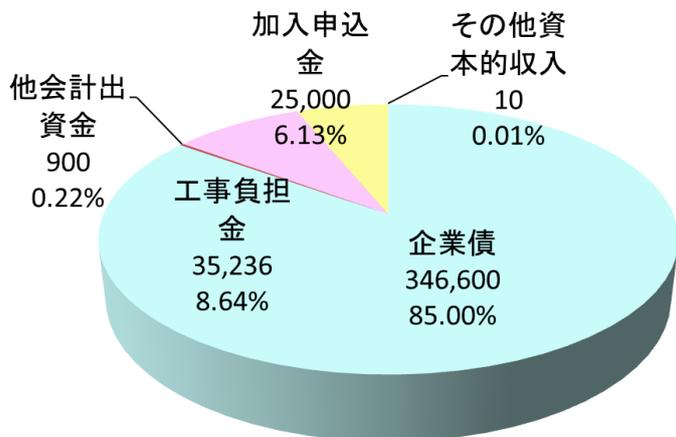


- 特別損失 特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっており、過年度損益修正損が約90%を占めています。これは宅内水道管の漏水等により過年度の水道料金を減免した場合にこの科目に修正損として計上されます。



資本的収入（4条予算）・・・407,746千円

資本的収入は企業債・他会計出資金・工事負担金・その他資本的収入で構成されています。

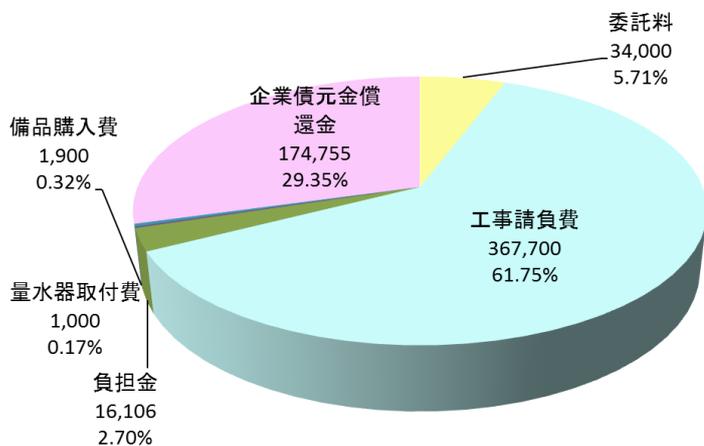


| | 予算額 (千円) |
|----------|----------|
| | 407,746 |
| 企業債 | 346,600 |
| 他会計出資金 | 900 |
| 工事負担金 | 35,236 |
| 加入申込金 | 25,000 |
| その他資本的収入 | 10 |

- 資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に下水道事業及び土木建設課からの工事負担金、水道加入申込金、新設消火栓設置にかかる一般会計からの他会計出資金となっています。

資本的支出（4条予算）・・・595,461千円

資本的支出は建設改良費・企業債償還金で構成されています。



| | 予算額 (千円) |
|--------|----------|
| | 595,461 |
| 委託料 | 34,000 |
| 工事請負費 | 367,700 |
| 負担金 | 16,106 |
| 量水器取付費 | 1,000 |
| 備品購入費 | 1,900 |
| 企業債償還金 | 174,755 |

- 資本的支出の内訳ですが大部分を工事請負費が占め、次に企業債元金償還金となっています。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金で補填することとなります。